

光西寺



本堂外観



本堂内陣

川越光西寺の寺基は島根県浜田市の指方山光西寺に始まる。永禄九年（一五六六）、甲斐の武田一門の惠誓法師が開基と言われている。浜田藩主の松平周防守の転封（お国替え）によって天保七年（一八三六）福島県棚倉、慶応二年（一八六六）埼玉県川越と寺も移転してきた。すぐに明治維新、元号も明治（一八六八）となり、松平周防守は川越で版籍奉還、廃藩置県を迎えた。当初は、光西寺は南町にあったが、大正十五年に現在地である小仙波に土地を求めて、昭和二年三月、本堂・庫裏が完成し移転した。

境内には、川越藩最後の藩主、松平周防守家の御廟があり、先祖の遺骨百七十余体が納められている。また、川越藩関係の文書（松井家文書や甲冑、槍など六百点ほど収蔵している。中でも、北条時宗書状、大政所書状、徳川家康文書などの二十六点は県の文化財指定を受けている。



山門



松平周防守廟所

常例法話会	毎月第一土曜日	午後二時から四時まで
親鸞セミナー（正信偈）	毎月第四水曜日	午後二時から四時まで
經典輪読会（選択集）	毎月第二金曜日	午後二時から四時まで
写経会	毎週木曜日	午後二時から四時まで
春・秋彼岸会は中日（午前十時より）		
盂蘭盆会は八月十三日（午前十時より）		
報恩講は十二月の第一日曜日（午前十一時より）		